

# ポータブルミニディスク レコーダー

## 取扱説明書

使いかた編 \_\_\_\_\_

12ページ

困ったときは・Q&A編 \_\_\_\_\_

76ページ

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Net MD



MDLP

"ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。  WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

## MZ-N910



警告

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

6～11ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターをコンセントから抜く/  
パソコンから専用USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



強制

# お使いになる前に

この取扱説明書では、ポータブルMDレコーダー本体の使いかたを説明しています。パソコンとつないで使う基本的な操作や、ソフトウェアの詳しい操作についてはそれぞれのマニュアルがあります。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

## 本体を使うときは

### 取扱説明書(本書)

本体の操作全般についてのマニュアルです。本体の操作について詳しくはこちらをご覧ください。

困ったことがあったとき、もっと知りたいときは  
取扱説明書(本書)の「困ったときは」や「MD知っ得Q&A」  
(76ページから)をご覧ください。



## 本体をパソコンにつないで使うときは

### パソコンでNet MDを使ってみよう!

#### SonicStage Ver.1.5簡単ガイド

SonicStageソフトウェアのインストール方法と基本的な操作についてのマニュアルです。



### SonicStage Ver.1.5ヘルプ

画面で見る電子マニュアルです。

SonicStageソフトウェアの詳しい操作の説明や、ソフトウェア使用中に困ったことがあったときは、こちらをご覧ください。



### パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

インターネット上のホームページです。本機とSonicStageソフトウェアの最新のサポート情報を見ることができます。

<http://www.sony.co.jp/support-pa/>



# 目次

⚠警告・⚠注意 .....	6
---------------	---

## 使いかた編

### 準備する

付属品を確かめる .....	12
各部のなまえ .....	13

### 基本的な 使いかた

<b>準備する</b> .....	<b>17</b>
-------------------	-----------

<b>録音する</b> .....	<b>20</b>
-------------------	-----------

<b>再生する</b> .....	<b>23</b>
-------------------	-----------

### いろいろな録 音のしかた

表示窓で情報を見る .....	25
録音元に合わせて録音を開始 / 停止する(シンクロ録音).....	26
長時間録音する(MDLP).....	27
テレビやラジオから録音する(アナログ録音).....	28
マイクで録音する .....	29
録音中にトラックマークをつける .....	30
手で録音レベルを調節する .....	31

### いろいろな再 生のしかた

表示窓で情報を見る .....	32
再生モードを選ぶ .....	32
好みの音にする (バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ).....	34
再生速度を変える(デジタルピッチコントロール).....	36
アラームを鳴らす(メロディタイマー).....	36
お手持ちのシステムで聞く(LINE OUT).....	38

### 編集する

編集する前に .....	39
名前をつける(ネーム).....	39
曲順を変える(ムーブ).....	42
曲を分ける(ディバイド).....	43
曲を1つにする(コンバイン).....	44
曲を消す(イレース).....	44

グループ機能 を使う	グループ機能とは .....	46
	グループで録音する .....	46
	グループで再生する .....	47
	グループを編集する .....	49
便利な機能	各種設定 .....	54
電源について	電池の持続時間 .....	71
その他	使用上のご注意 .....	72
	主な仕様 .....	74

---

## 困ったときは・Q&A編

困ったときは	故障かな？と思ったら .....	76
	メッセージ一覧 .....	83
	保証書とアフターサービス .....	86
MD知っ得 Q&A	こんなこともできます .....	87
	索引 .....	95



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

### 運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



### 国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



### 指定以外の充電スタンド、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。



---

**火のそばや炎天下などで充電・放置しない**

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



禁止

---

**充電スタンドの上に金属を置かない**

充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。



禁止

---

**金属類と一緒に本体を携帯・保管しない**

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。



禁止

---



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止



# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池  
ニッケル水素  
(Ni-MH)

乾電池  
アルカリ

## 危険

### 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れてはいけない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

## 警告

### 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてはいけない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池を使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 乾電池の+と-、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

次ページへつづく

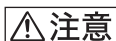
充電池電池、乾電池が液漏れしたときは  
充電池電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液  
を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。



**注意**

乾電池について

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

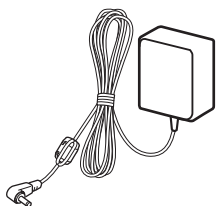
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)

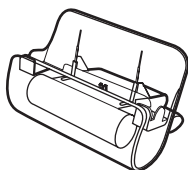
SonicStage、OpenMG、Net MDおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。

## 付属品を確かめる

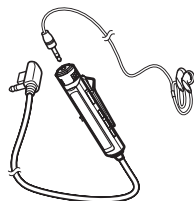
ACパワーアダプター



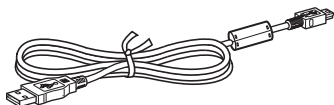
充電スタンド



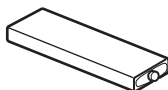
リモコン付きヘッドホン  
(漢字・カナ表示対応)



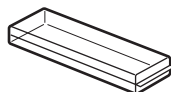
専用USBケーブル



充電式ニッケル水素  
電池NH-14WM



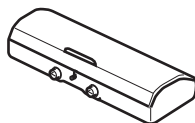
充電池ケース



キャリングポーチ



乾電池ケース( DC INジャック  
クなし)



MZ-N910 取扱説明書

CD-ROM (SonicStage Ver. 1.5)\*

パソコンでNet MDを使ってみよう！ SonicStage Ver. 1.5簡単ガイド

保証書

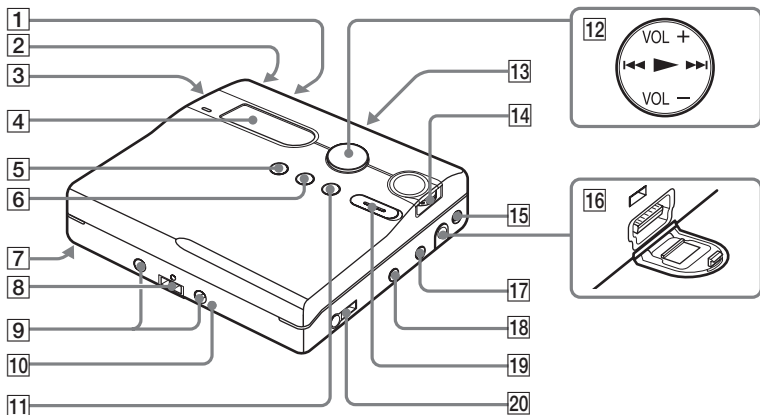
ソニーご相談窓口のご案内

カスタマー登録のお願い

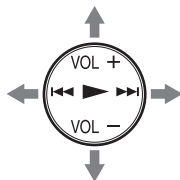
\* CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

# 各部のなまえ

## 本体



- 1 END SEARCHボタン
- 2 T MARKボタン
- 3 電池入れ
- 4 表示窓
- 5 GROUPボタン
- 6 ■●CHGボタン
- 7 HOLDスイッチ(裏面)  
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くと、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
- 8 充電スタンド取り付けジャック
- 9 乾電池ケース取り付けジャック
- 10 DC IN 3Vジャック
- 11 ||ボタン
- 12 集中コントロールキー



操作	意味
▶*を押す	再生
◀◀を押す	早戻し
▶▶を押す	早送り
VOL +、-を押す	音量調整

- 13 OPENつまみ
- 14 ジョグダイヤル  
(MENU(メニュー)/ENTER(決定))

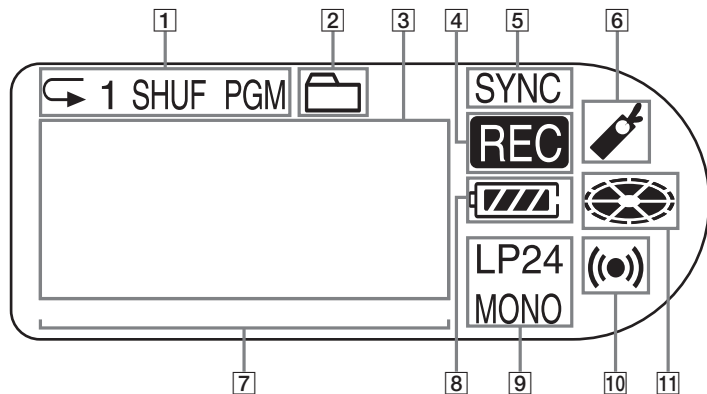


回して選択                      押しで決定

- 15 ハンドストラップ用穴  
お手持ちのハンドストラップをつけることができます。
- 16 専用USBケーブル接続用ジャック
- 17 LINE IN (OPT)ジャック
- 18 MIC (PLUG IN POWER)ジャック\*
- 19 RECつまみ
- 20 ♪/LINE OUTジャック

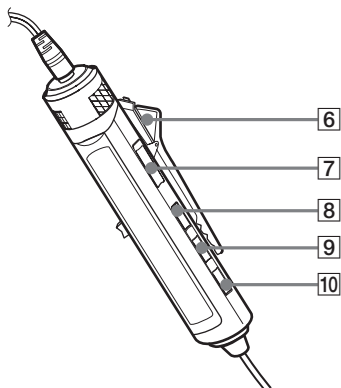
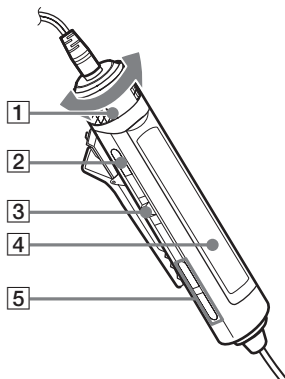
\* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

## 表示窓(本体)



- 1 再生モード表示  
シャッフル再生、プログラム再生、リピート再生などの再生状態を表示します。
- 2 グループ表示
- 3 文字情報表示部  
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。
- 4 録音表示  
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- 5 シンクロ録音表示
- 6 ブックマーク(しおり)表示  
再生中の曲にブックマークがついていることを示します。
- 7 レベル表示
- 8 電池残量表示  
充電式電池や乾電池の残量の目安を表示します。
- 9 LP2ステレオ/LP4ステレオ、モノラル表示
- 10 メロディータイマー表示
- 11 ディスク表示  
録音、再生のとき、ディスクが回転していることを示します。

## リモコン



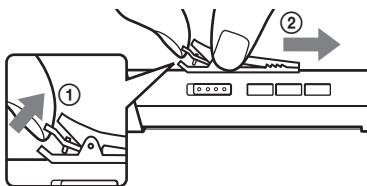
- 1 回転つまみ(VOL(音量) +、-) 回すと音量を調節できます。
- 2 ■(停止)ボタン
- 3 ジョグレバー(▶|||/ENT・◀◀・▶▶)
- ▶(再生)◀(一時停止)/ENT(決定): 停止中に押すと再生をはじめます。録音中、再生中に押すと、録音/再生を一時停止します。また、メニューなどを選択しているときに押すと、選択を決定します。
- ▶▶: 再生、早送り、頭出し
- ◀◀: 早戻し、頭出し
- ◀◀、▶▶側にずらして頭出し、早送り、早戻しをします。

- 4 表示窓
- 5 ◻(グループ)+、-ボタン
- 6 クリップ
- 7 HOLDスイッチ  
矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
- 8 DISPLAYボタン
- 9 P MODE/☒ボタン
- 10 SOUNDボタン

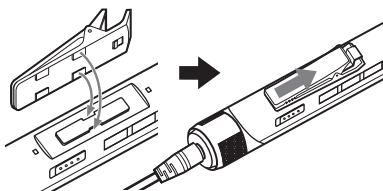
## リモコンクリップの使いかた

クリップを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

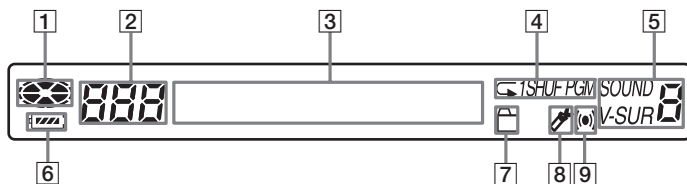
1 クリップをはずす。



2 逆向きにつける。



## 表示窓(リモコン)



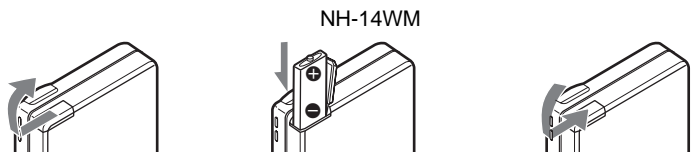
- 1 ディスク表示
- 2 曲番表示部
- 3 文字情報表示部
- 4 再生モード表示
- 5 サウンド表示

- 6 電池残量表示
- 7 グループ表示
- 8 ブックマーク(しおり)表示
- 9 メロディータイマー表示



お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。ただし、ACパワーアダプターを本体につなげば、充電しなくても使用できます。

## 1 充電式電池を入れる



① 電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。

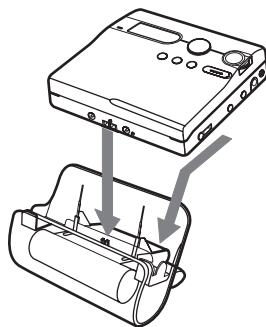
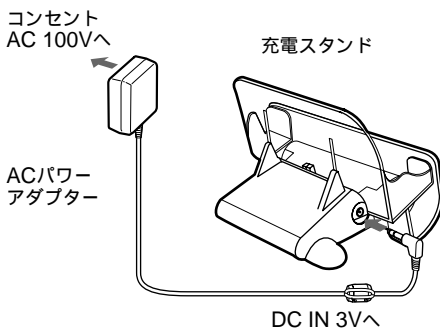
② 充電式電池を入れる。  
●側を奥にして入れてください。

③ ふたを閉める。

## 2 充電する

① 充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。

② 本体を充電スタンドにのせる。



本体の充電スタンド取り付けジャックと、充電スタンドのジャックを、しっかりはめ込んでください。

「Charging」が点滅し、□が表示され、充電が始まります。約3.5時間で充電が完了し、□表示が消えます。

□表示が消えた時点でお使いになれます。さらに2時間程充電を続けると、100%充電となります。

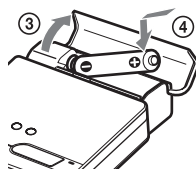
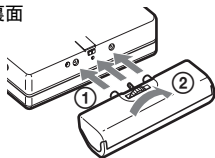
③ 本体を充電スタンドからはずす。

アルカリ乾電池と一緒に使うときは

乾電池ケースを本体に取り付ける

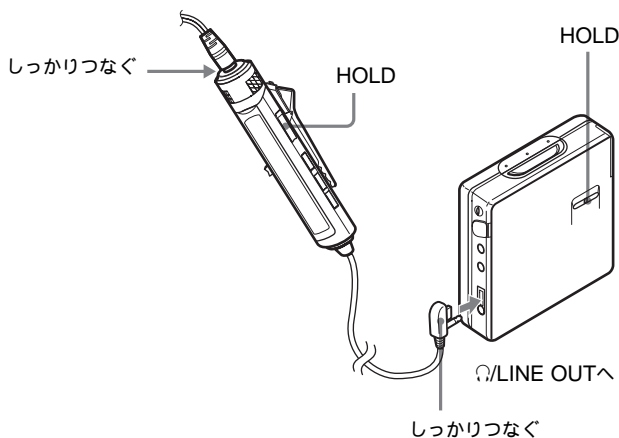
図のように必ず●側から入れる

本体裏面



ソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。  
充電式電池と一緒に使うと、長時間使用できます。

## 2 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する





ACパワーアダプターを直接つないで充電することもできます。  
 本体のDC IN 3VジャックにACパワーアダプターをつなぎ、停止中に■・CHGボタンを押します。「Charging」が点滅し充電が始まります。放電しきった状態から充電が完了するまで約3時間半かかります。□表示が消えたら充電完了です。充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

### ご注意

- 充電中は、録音や再生などの操作をすることはできません。
- 充電式電池を充電スタンドに置いて、  
 「Charging」や□表示がすぐに表示されないことがあります。しばらくすると表示され、充電が始まります。
- 5 ~ +40 内の温度の場所で充電してください。

### 電池の持続時間\*

#### 録音

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
ニッケル水素充電式電池	約11時間	約16時間	約20時間
アルカリ乾電池	約11時間	約16時間	約21時間
ニッケル水素充電式電池 + アルカリ乾電池	約29時間	約38時間	約50時間

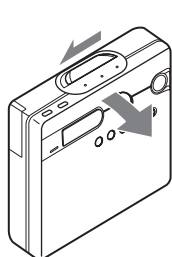
#### 再生

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
ニッケル水素充電式電池	約31時間	約38時間	約45時間
アルカリ乾電池	約47時間	約57時間	約69時間
ニッケル水素充電式電池 + アルカリ乾電池	約80時間	約95時間	約114時間

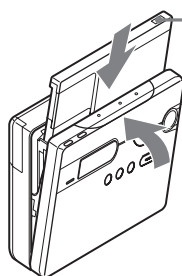
\* パワーセーブ機能ON時の値です。詳しくは71ページをご覧ください。

光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーやBSチューナーなどつないでデジタル録音する方法を説明します。別売りの光デジタルケーブルをご用意ください。録音の際は、ACパワーアダプターを家庭用電源(コンセント)につないでご使用になることをおすすめします。その他の録音方法は25~31ページをご覧ください。

## 1 ミニディスクを入れる



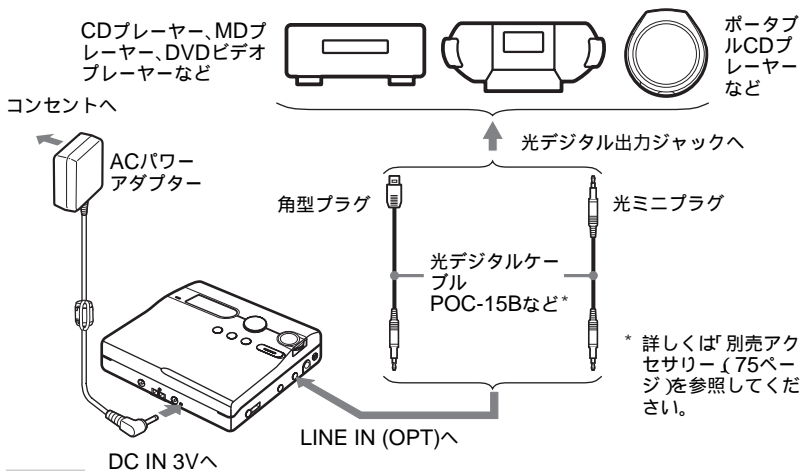
① OPENつまみをずらす。ふたが開きます。



誤消去防止つまみが閉じていることを確認

② ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。

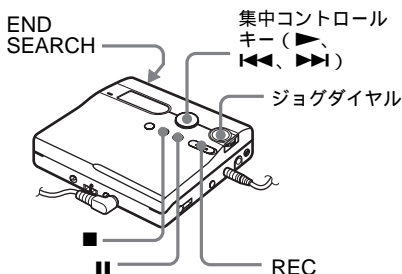
## 2 つなぐ(奥までしっかりと差し込んでください。)



### ご注意

録音の際は、ACパワーアダプターを本体に直接つないでお使いになることをおすすめします。本体を充電スタンドに置いて録音する場合は、万が一本体が充電スタンドから外れたときでも録音が続けられるように、十分に充電した充電式電池を本体に入れて録音してください。

# 3 録音する



- ① 録音したいCDなどを一時停止にする。
- ② 停止中にRECつまみを押しながらずら  
す。「REC」表示とRECつまみ中央部のREC  
LEDが点灯し、録音が始まります。
- ③ CDなどの再生を始める。  
録音元のCDなどと同じところに曲番が  
つきます。

止めるには、■を押す。

## ご注意

すでに録音済みのディスクに録音をすると、ディスクの内容が上書きされます(お買い上げ時の設定)。録音済み部分の後ろから録音したい場合は、手順3の「録音する」の前に「上書きをせずに録音する」(58ページ)の設定を行ってください。

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しく録音する	END SEARCHを押し、RECつまみを押しながらずらす。 <sup>1)</sup>
録音した内容の途中から続けて上書き録音する <sup>1)</sup>	▶を押す、または◀◀、▶▶を押して録音を始めたい位置を探し、■を押す。次に、RECつまみを押しながらずらす。
一時停止する	を押す。 <sup>2)</sup> もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける。 <sup>3)</sup> (「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。)

<sup>1)</sup> 録音開始位置(「REC-Posi」)の設定が「From End」になっているときは、END SEARCHボタンを押さなくても常に録音済み部分の後ろから新しく録音を始めます(58ページ)。

<sup>2)</sup> 一時停止したところで曲番(トラックマーク)が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

<sup>3)</sup> ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります(録音開始位置(「REC-Posi」)の設定が「From Here」になっているとき)。

## 録音が始められないときは

- ホールド(誤動作防止)スイッチを確認してください。(13、18ページ)
- ディスクの誤消去防止つまみを確認してください。(74ページ)
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

## 録音状態を確認する

REC LEDが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅(ボイスミラー)
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
トラックマーク(曲番)が追加されたとき*	一瞬 消灯
チェックアウト時	速く点滅

\* 手でトラックマークを追加したときや、オートタイムマーク機能で追加したとき(30ページ)を除く。

## ご注意

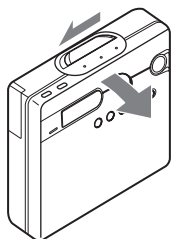
- 「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報(曲の開始・終了位置など)をディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりすると、それまで録音した内容が記録されません。
- 録音中や編集集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまでに電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  - ACパワーアダプターを接続していないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  - 音飛びガード機能(ESPやG-PROTECTIONなど)がONになっていると、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、音飛びガード機能をOFFにしてください。



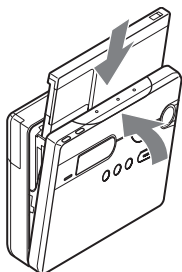
- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。音の大きさを変えたいときは、「手で録音レベルを調節する」(31ページ)をご覧ください。
- 録音中に音を聞くことができます。  
○/LINE OUTジャックにリモコン付きヘッドホンをつなぎます。聞こえる音の大きさはリモコンの回転つまみを回して(本体ではVOL+、-を押して)調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

## 1 ミニディスクを入れる

録音済みのディスクを入れます。



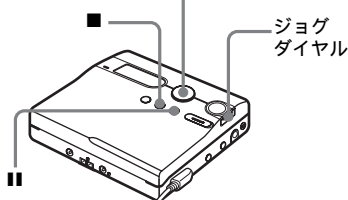
- ① OPENつまみを  
ずらす。  
ふたが開きます。



- ② ディスクのラベル面をふた側に  
して矢印の向きに奥まで押し入  
れ、ふたを閉める。

## 2 聞く

集中コントロールキー  
(▶、◀◀、▶▶、VOL  
+、-)



ジョグ  
ダイヤル

回転つまみ  
(VOL +、-)

ジョグレバー  
(▶▶、◀◀、  
▶▶)

- ① ▶を押す。  
リモコンではジョグレバーを押す(▶▶)。  
操作すると「ピ」と確認音がします。
- ② VOL +、-を押して、音量を調節する。  
リモコンでは回転つまみをVOL +、-側に  
回して、音量を調節する。  
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、**||**を押す。  
操作すると「ピー」と確認音がします。  
停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパ  
ワーアダプター使用時では約3分後に、自動的に  
電源が切れます。

次に再生するときは、止めたところの続きから  
始まります。  
ディスクの初めの曲から再生を始めたいとき  
は、▶(リモコンではジョグレバー(▶▶))を2  
秒以上押ししたままにして、再生を始めてくださ  
い。

こんなときは	本体操作	リモコン操作
一時停止する	IIを押す。 もう一度押すと解除されます。	ジョグレバーを押す(▶II)。 もう一度押すと解除されます。
曲番や曲名を直接選ぶ (ダイレクト選曲)	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、押す。	—
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	I◀◀を押す。またはさらに戻したい曲数だけI◀◀を押す。	ジョグレバーをI◀◀側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけI◀◀側にずらす。
次の曲を頭出しする	▶▶Iを押す。	ジョグレバーを▶▶I側にずらす。
再生しながら早戻し/早送りする	I◀◀または▶▶Iを押したままにする。	ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしたままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す(タイムサーチ)	一時停止中、I◀◀または▶▶Iを押したままにする。	一時停止中、ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す(インデックスサーチ)	停止中、I◀◀または▶▶Iを押したままにする。	停止中、ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしたままにする。
10曲ごとに頭出しする (グループ設定されていないディスク <sup>1)</sup> の再生時のみ)	GROUPを押してから、I◀◀または▶▶Iを押す。	□+または-を押す。
ディスクを取り出す	を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける <sup>2)</sup> 。	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける <sup>2)</sup> 。

<sup>1)</sup> 詳しくは、「グループ機能を使う」(46ページ)をご覧ください。

<sup>2)</sup> ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります(パーソナルディスクメモリーに登録しているときを除く)。

## 再生が始められないときは

ホールド(誤操作防止)スイッチを確認してください(13、18ページ)。

### ご注意

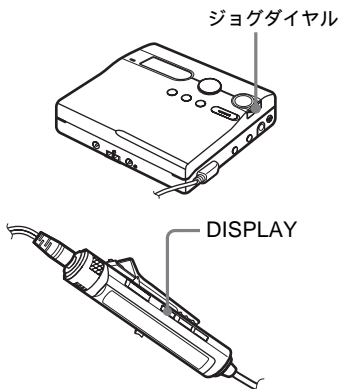
次のような場合、音が飛ぶことがあります。

- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合



## 表示窓で情報を見る

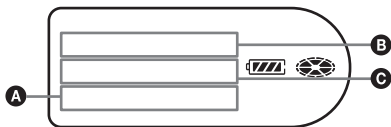
録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。グループ機能に関する表示は、グループ設定された曲を再生し、停止したときに表示されます。



### 本体で操作する

- 1 ジョグダイヤルを押す。
- 2 ジョグダイヤルを回して「DISPLAY」を表示させ、押して決定する。
- 3 ジョグダイヤルを回して確認したい情報を表示させ、押して決定する。

本体の表示窓



回すたびに、表示は次のように変わります。

LapTime ↔ RecRemain ↔  
 GP Remain ↔ AllRemain ↔  
 Title ↔ Sound ↔ Clock

ジョグダイヤルを押すとA、B、Cに選んだ情報が表示されます。

A (選んだ項目)	B	C
—(LapTime)	曲番	経過時間
RecRemain	曲番	録音できる残り時間
GP Remain	グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
曲名 (Title)	ディスク名	グループ名
サウンドモード名 (Sound)	選ばれている各サウンドモード別表示	—
Clock	年月日	現在時刻

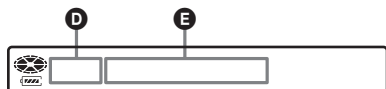
### ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

## リモコンで操作する

### 1 DISPLAYを押す。

押すたびに、表示は次のように変わります。  
リモコンの表示窓



D	E
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループの全曲数	グループ名
残り曲数	ディスク名
曲番	グループ名(上段)曲名(下段)
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示
—	現在時刻

### ご注意

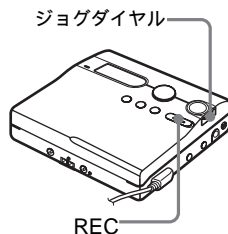
ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。



再生中の表示については、32ページの「表示窓で情報を見る」をご覧ください。

## 録音元に合わせて録音を開始/停止する (シンクロ録音)

録音元の音に合わせて録音を始めたり止めたりします。光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から、本機へ録音するとき、録音元と本機の両方を操作する手間ははぶき、簡単に録音できます。光ケーブルで接続をしないとシンクロ録音はできません。



### 1 接続する。

録音元の機器に合わせて、別売りの光デジタルケーブルをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリ」(75ページ)をご覧ください。

### 2 停止中にジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「SYNC REC」を表示させ、押して決定する。

5 ジョグダイヤルを回して「SYNC ON」を表示させ、押して決定する。

- 6 RECつまみを押しながらずらす。  
「REC」表示とREC LEDが点灯し、  
録音待機状態になります。

- 7 録音したいCDなどを再生する。  
録音元で音が出ると、自動的に本機で  
録音が始まります。

## 録音を止めるには

■を押す。



シンクロ録音中に録音元で約3秒の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

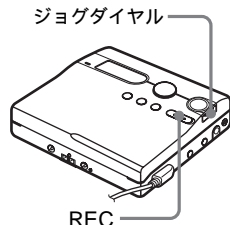
## ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止、または一時停止を解除することができません。
- 録音中は、「SYNC REC」の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音元で無音(92ページ)状態が続いても、録音元の雑音が原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- CDやMD以外からのシンクロ録音中に、録音元の同一曲内で約2秒の無音(92ページ)が続くと、再び音が出たところで曲番が1つ増えます。

## 長時間録音する(MDLP)

通常のSPステレオ録音に加えて、録音時間を2倍(LP2)または4倍(LP4)長くしてステレオ録音することができます(MDLP録音)。またモノラル録音でも通常のSPステレオ録音よりも2倍長く録音することができます。

LP録音した内容は、MDLP再生に対応していない他の機器では再生できません。



- 1 停止中にジョグダイヤルを押す。
- 2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。
- 3 ジョグダイヤルを回して「REC MODE」を表示させ、押して決定する。
- 4 ジョグダイヤルを回してお好みの録音モードを表示させ、押して決定する。

録音モード <sup>1)</sup>	本体液晶表示	録音時間 <sup>2)</sup>
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分
モノラル録音 <sup>3)</sup>	MONO	約160分

<sup>1)</sup> より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。

<sup>2)</sup> 80分ディスク使用時。

<sup>3)</sup> ステレオの音源をモノラル録音すると、左右の音がミックスされて録音されます。

次ページへつづく

5 RECつまみを押しながら、録音を始める。

6 録音もとの機器の再生を始める。

## 録音を止めるには

■を押す。

次に録音するときまで、録音モードは記憶されています。



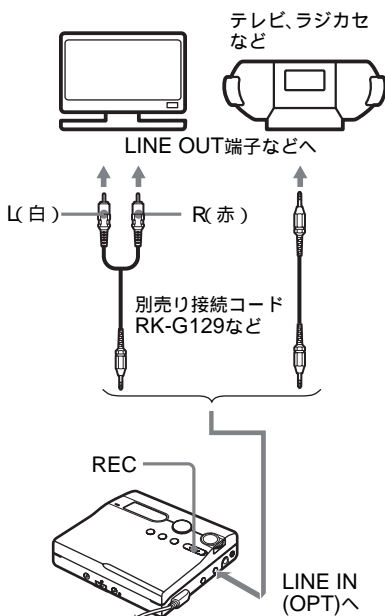
MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2ステレオ」、「LP4ステレオ」に対応していません。

### ご注意

- 長時間録音するときはACパワーアダプターをつないでお使いになることをおすすめします。
- LP4ステレオ録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音を選んでください。

## テレビやラジオから録音する(アナログ録音)

カセットテープやラジオ、テレビなどの「アナログ機器」から録音する場合や、MDから録音する場合の方法です。



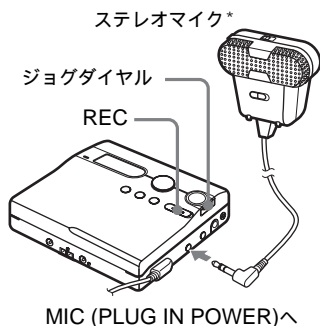
### 1 接続する。

録音元の機器に合わせて、別売りの接続コードをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリ」(75ページ)「こんなこともできます」(87ページ)をご覧ください。

2 RECつまみを押しながら、録音を始める。

3 録音したい音を出す。

## マイクで録音する



\* 詳しくは「別売りアクセサリ」(75ページ)を参照してください。

- 1 別売りのステレオマイクを本体につなぐ。  
入力は自動的にマイク入力に切り換わります。
- 2 RECつまみを押しなげらして、録音を始める。

## マイク感度を変える

- 1 停止中または録音中にジョグダイヤルを押す。
- 2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。
- 3 ジョグダイヤルを回して「MIC SENS」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「SENS HIGH」または「SENS LOW」を表示させ、押して決定する。

- 「SENS HIGH」: 会話など、通常の音量のものを録音するとき
- 「SENS LOW」: ライブ録音など、大音量を録音するとき



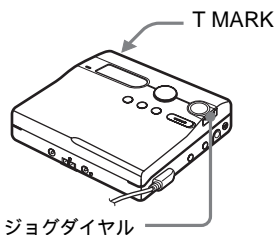
プラグインパワータイプのマイクをお使いの場合、電源は本体から供給されますので、マイクの電源をOFFにしても使うことができます。

### ご注意

- 光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。光デジタルケーブルがLINE IN (OPT)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続タイプのマイクはノイズを拾うことがあるのでご注意ください。
- モノラルマイクで録音すると、左チャンネルしか録音できません。

## 録音中にトラックマークをつける

録音中にトラックマーク(曲番)をつけて、曲や録音に区切りをつけることができます。



### 手動でつける

1 録音中、トラックマークをつけたいところで、T MARK(リモコンでは P MODE/ )を押す。

### 自動でつける(オートタイムマーク)

会議や講義など、長い録音をするときに、一定時間ごとにトラックマークを自動的につけて、途中に目印をつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音中のみ設定することができます。

1 録音中または録音一時停止中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「TIME MARK」を表示させ、押して決定する。  
「OFF」が点滅します。

4 ジョグダイヤルを回して「ON」を表示させ、押して決定する。

5 ジョグダイヤルを回してお好みの時間を表示させ、押して決定する。  
「TIME:01」から「TIME:99」(1分から99分)までが表示され、1分刻みで設定することができます。

### 設定を解除するには

手順4で「OFF」を選ぶ。または■を押して録音を停止する。

### 録音中のオートタイムマークのつきかた

● 録音している時間がトラックマークの設定時間を超えていたとき：

設定をしたところでトラックマークがつき、以後設定時間ごとにトラックマークがつく

例)録音時間8分、トラックマークの設定時間5分(TIME:05)のとき  
実際にトラックマークがつくのは、8分、13分、18分、23分・・・

● 録音している時間がトラックマークの設定時間より短いとき：

トラックマークの設定時間に達したときから設定時間毎にトラックマークがつく

例)録音時間3分、トラックマークの設定時間5分(TIME:05)のとき  
実際にトラックマークがつくのは、5分、10分、15分・・・



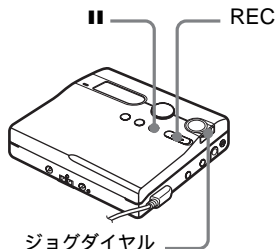
オートタイムマークでトラックマークをつけると、本体の表示窓では時間表示の前に「T」がつかます。リモコンの表示窓では、時間表示の後ろに「T」がつかます。

## ご注意

- 録音の途中にT MARKボタンを押したり、**II**を押して、トラックマークがついてしまったときは、その時点から設定した時間ごとにオートタイムマークがつかます。
- 録音を止めると、設定は解除されます。

## 手動で録音レベルを調節する

録音中は、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。アナログ録音のときはもちろん、デジタル録音のときでも調整できます(デジタルRECレベルコントロール)。

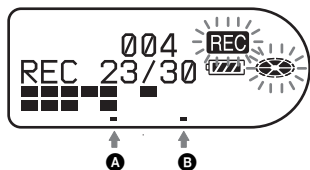


- 1 **II**を押しながら、RECつまみを押しながらずらす。  
録音一時停止になります。
- 2 ジョグダイヤルを押す。
- 3 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。
- 4 ジョグダイヤルを回して「RecVolume」を表示させ、押して決定する。

5 ジョグダイヤルを回して、「ManualREC」を表示させ、押して決定する。

6 録音したい音を出す。

7 表示窓を見ながらジョグダイヤルを回して録音レベルを調節する。  
録音レベルは、**A**から**B**の間を目安にレベル表示のバーが点灯するように調整します。**B**より右が点灯するときは、録音レベルを下げてください。画面に表示されるレベル表示のバーは次のように分かれています。  
上段：L(左)のレベル  
下段：R(右)のレベル



- 8 **II**を押して録音を始める。  
他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

## 自動調節するには

手順5で「Auto REC」を選ぶ。

## ご注意

- 左右の音(チャンネル)のレベルは、別々に調節できません。
- 録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- シンクロ録音中に手動で調節するときは、まずシンクロ録音が「SYNC OFF」の状態(26ページ)で、上記手順1~7を行い、録音レベルの調整をします。その後、シンクロ録音を「SYNC ON」にして、録音を始めます。

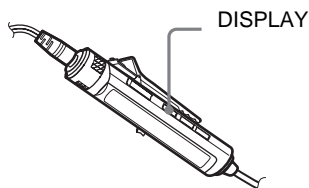
いろいろな録音のしかた

## いろいろな再生のしかた

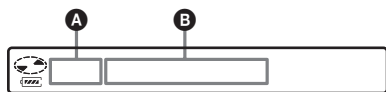
この章ではリモコンでの操作を説明しています。各項目の本体での操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

### 表示窓で情報を見る

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。



1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。押すたびに、表示は次のように変わります。



表示 A/B

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループ内の全曲数	グループ名
残り曲数	ディスク名
曲番	グループ名(上段) 曲名(下段)
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示

A	B
—	録音した時刻
曲番	録音されたときのモード

### ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

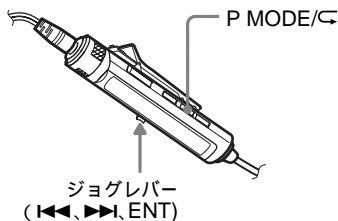


録音または停止中の表示については、25ページの「表示窓で情報を見る」をご覧ください。

本体の操作については63ページをご覧ください。

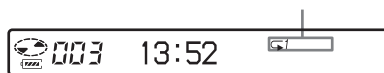
### 再生モードを選ぶ

リモコンのP MODE/◀ボタンを使っているいろいろな聞き方ができます。





1 P MODE/◀を繰り返し押す。押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態でも再生します。

再生モード表示







表示*	再生状態
—	通常の再生(ディスク全曲を1回再生)
1	1曲再生(今再生している曲のみを再生)
	ブックマーク再生(ブックマーク(しおり)がついている曲だけを順番に再生)
SHUF	シャッフル再生(全曲を順不同に並べかえて再生)
PGM	プログラム再生(聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生)


\* グループ設定されたディスクでは、グループ再生モード()も表示されます。詳しくは「グループで再生する」(47ページ)をご覧ください。

## 繰り返し聞く(リピート再生)


通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生などを繰り返し聞くことができます。

- 1 お好みの再生モードで再生中、P MODE/を2秒以上押す。  
が点灯します。

## 解除するには

P MODE/を2秒以上押す。



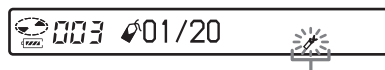
リピート再生中に、P MODE/ボタンを押すと、リピートのままで再生モードを変えることができます。

## 好きな曲だけを選んで聞く(ブックマーク再生)

好きな曲にブックマーク(しおり)をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

## ブックマークをつけるには



- 1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。  
ブックマーク再生の1曲目が確定します。



ブックマークがゆっくり点滅

- 2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。  
全部で20曲までつけられます。

## ブックマークした曲を再生するには

- 1 再生中、P MODE/を繰り返し押し、**「TrPLAY?**」を表示させる。
- 2 ジョグレバーを押す。  
ブックマークのついた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

## ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

## ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

## 好きな順に曲を並べかえて 聞く(プログラム再生)

- 再生中、「PGM」が表示されるまで P MODE/◀を繰り返し押す。
- ジョグレバーを◀または▶側によらずして曲番を選び、押して決定する。



曲番      プログラムの順番

- 手順2を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。  
全部で20曲までプログラムできます。
- 選び終わったらジョグレバーを2秒以上押し決定する。  
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。



再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。

### ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

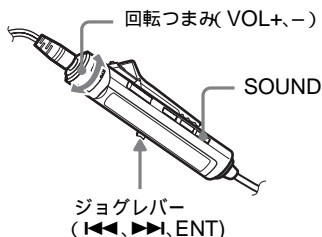
本体の操作については59、60ページをご覧ください。

## 好みの音にする (バーチャルサラウンド・6バンド イコライザ)

音の臨場感を変えたり、好みの音質をリモコンで選択・設定することができます。

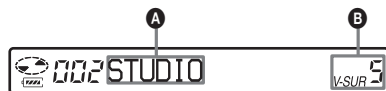
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR(バーチャルサラウンド): 音の臨場感を変える。(4種類)
- 6 BAND EQUALIZER(6バンドイコライザ): 音質を変える。(6種類)



## 臨場感を変える (バーチャルサラウンド)

- 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「V-SUR」を選ぶ。
- SOUNDを2秒以上押す。
- ジョグレバーを◀または▶側によらずしてサラウンドの種類を選ぶ。



ジョグレバーをずらすたびに**A**と**B**が次のように変わります。

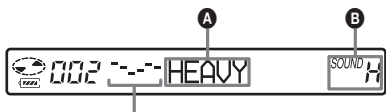
<b>A</b>	<b>B</b>
STUDIO	V-SUR S
LIVE	V-SUR L
CLUB	V-SUR C
ARENA	V-SUR A

4 ジョグレバーを押して決定する。

## 音質を選ぶ

(6バンドイコライザ)

- 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SOUND」を選ぶ。
- SOUNDを2秒以上押す。
- ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらしてサウンドの種類を選ぶ。



各周波数ごとのレベル 100Hz~10kHz  
ジョグレバーをずらすたびに**A**と**B**が次のように変わります。

<b>A</b>	<b>B</b>
HEAVY	SOUND H
POPS	SOUND P
JAZZ	SOUND J
UNIQUE	SOUND U
CUSTOM	SOUND 1
CUSTOM	SOUND 2

4 ジョグレバーを押して決定する。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

設定を解除するとき

手順1で**B**に何も表示されていない状態を選ぶ。

好みの音質にする

「CUSTOM」には、お好みの音質を記憶させることができます。

- 上記の手順1~3を行い、**B**に「SOUND1」または「SOUND2」を表示させる。
- ジョグレバーを押す。
- ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして周波数を選ぶ。



周波数(100Hz)

周波数は次の6つから選べます。  
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

- 回転つまみを繰り返し回してレベルを調節する。



レベル(+10dB)

レベルは次の7段階から選べます。  
-10dB、-6dB、-3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

- 手順3と4を繰り返す。
- ジョグレバーを押して決定する。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

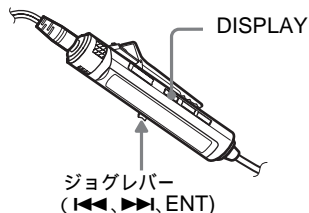
1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

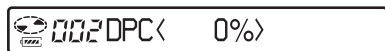
本体の操作については61、62ページをご覧ください。

## 再生速度を変える (デジタルピッチコントロール)

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります  
+100% ~ -50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。



- 1 再生中、DISPLAYを2秒以上押す。
- 2 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして「USEFUL」を表示させ、押し決定する。
- 3 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして「DPC」を表示させ、押し決定する。  
再生速度の設定画面になります。音を聞きながら選んでください。



- 4 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして速度を選び、押し決定する。  
表示窓に「DPC」と表示されます。

### 途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

### 1つ前の設定に戻すときは

■を押す。



ディスクを出し入れすると、設定は0%に戻ります。

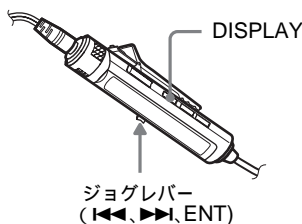
### ご注意

再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

本体の操作については62ページをご覧ください。

## アラームを鳴らす (メロディタイマー)

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のアラームを設定しておくことができます。そのうちの1つを選んでお使いください。アラームが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。タイマーは停止中でも働きます。



- 1 DISPLAYを2秒以上押す。
- 2 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして「USEFUL」を表示させ、押し決定する。

3 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして「Melody Timer」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらして「ON」を表示させ、押して決定する。  
 (●)が点灯します。



5 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらしてアラームの種類を選び、押して決定する。  
 アラームは次の3種類から選び、3つの時間設定をすることができます。

表示	音の種類
TIMER 1	メロディ (アルルの女)
TIMER 2	メロディ (パッペンベルのカノン)
TIMER 3	メロディ (エリーゼのために)

6 ジョグレバーを◀◀または▶▶側にずらしてアラームが鳴るまでの時間を選ぶ。



ジョグレバーをずらすたび、「TIME:01」から「TIME:99」(1分から99分)までが表示され、1分刻みで設定することができます。

7 ジョグレバーを押して決定する。  
 メロディタイマーが設定されます。  
 停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

アラームが鳴るまでの時間を確認するには

再生を停止する。

しばらくすると音が鳴るまでの時間が表示されます。

再生中や再生一時停止中の場合は、手順6までをもう一度行うと表示されます。

予約を解除するには

手順4で「OFF」を選ぶ。

アラームを止めるには

いずれかのボタンを押す。



- 手順4で操作を終了すると前回と同じ設定でタイマーが設定されます。
- アラームは1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

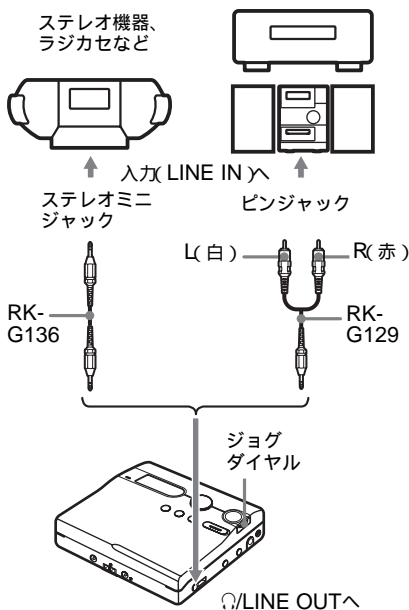
#### ご注意

- 録音を開始すると、設定は解除されます。
- 手順4で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順6で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

本体の操作については67ページをご覧ください。

## お手持ちのシステムで聞 く(LINE OUT)

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を○/LINE OUTジャックにつなぎます。



本機の○/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定をする必要があります。

1 ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「USEFUL」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「AUDIO OUT」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して、「LINE OUT」を表示させ、押して決定する。

### ご注意

- /LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやバーチャルサラウンド、6バンドイコライザは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- ヘッドホンを直接本体につなぐときは、手順4で○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定を「HeadPhone」にしてください。

この章では本体での操作を説明しています。各項目のリモコンでの操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

## 編集する前に

ミニディスクにトラックマーク(曲番)をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。

### ご注意

- 再生専用ミニディスクの編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください(74ページ)。
- 「TOC Edit」表示中は編集内容をディスクに記録しています。
  - 衝撃を与えないでください。
  - 電源を抜かないでください。
  - ふたは開きません。

## 名前をつける(ネーム)

文字パレットを使って曲名やディスク名をつけたり変えたりすることができます。

### ご注意

グループ名をつけるときは51ページをご覧ください。

### 入力できる文字の種類

- カタカナ(半角)
- アルファベットA-Zの大文字、小文字
- 数字0-9
- 記号 ! " # \$ % & ( ) \* . ; < = > ? @ \_ ` + - ' , / : \_ (スペース)

### 入力できる文字数

- 曲名、ディスク名にそれぞれ200文字(全文字種混在の場合)

### 1枚のディスクに入力できる文字数

- 英数字 / 記号のみの場合: 10文字程度で約120タイトル(最大約1700文字)
- カナ文字のみの場合: 10文字程度で約60タイトル(最大約800文字)

文字数によって登録できるタイトル数は異なります。

### 文字パレットについて

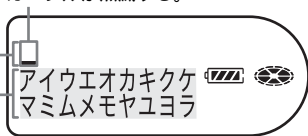
本体では表示窓に出てくる文字パレットから、文字を選んで入力します。文字パレットの文字配列は次のようになっています。

```

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨラリルレロワワン `°- アイウエオヤヨツ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 123
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 456
.,-?!&'"/@;():#$%<=>`+%_ 0 789
  
```

入力エリア

カーソルが点滅する。

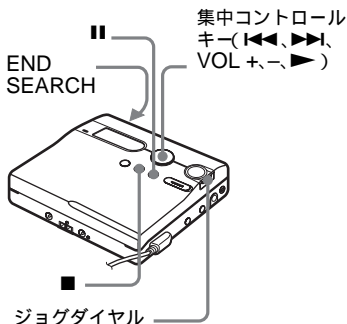


文字パレット

このように表示窓には文字パレットの一部しか表示されないのので、集中コントロールキーでカーソルを動かして、文字を選びます。

## ご注意

- ディスク名やグループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 付属のリモコンで漢字を表示することはできませんが、漢字で名前をつけることはできません。付属のSonicStageソフトウェアを使うと、漢字の入力ができます。



## 名前をつける

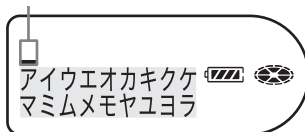
再生中、録音中、停止中、いずれの状態でも名前をつけることができます。ただし、停止中に曲名をつけるときは、名前をつけたい曲を選んでる状態で名前をつけてください。

- ジョグダイヤルを押す。
- ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。
- ジョグダイヤルを回して「Name」を表示させ、押して決定する。
- ジョグダイヤルを回して次の表示を表示させ、押して決定する。

つける名前	表示
曲名をつけるとき	♪ : Name
ディスク名をつけるとき	📀 : Name

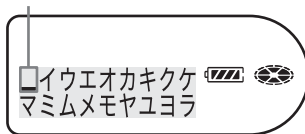
カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力状態になります。

カーソルが点滅する



## 5 VOL -を押す。

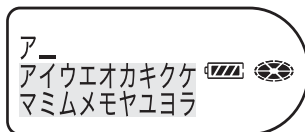
カーソルが移動し、文字と交互に点滅する。



## 6 集中コントロールキーで文字を選び、▶を押して決定する。

文字パレットで選んだ文字が入力エリアに表示され、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置で点滅する

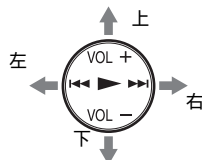


文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能*	操作
-----	----

文字パレット上でカーソルを移動する。

- 集中コントロールキーを倒す。



- ジョグダイヤルを回す(上下移動のみ)<sup>2)</sup>。



機能*	操作
入力エリアで直接文字を選ぶ。	ジョグダイヤルを回す。
文字を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶を押す。</li> <li>ジョグダイヤルを押す。</li> </ul>
カーソルを入力エリアから文字パレットに移す。	VOL -を押す。
カーソルを文字パレットから入力エリアに移す。	■を押す。
名前を確定する。	▶またはジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	END SEARCHと、VOL +を同時に押す。
カーソル上の文字を削除する。	END SEARCHと、VOL -を、同時に押す。
カーソル上の文字に濁点、半濁点をつける。	■を押す。
記号：、-、/を表示させる。	■を押す。
カーソル上のアルファベットの大文字/小文字を切り換える。 例：A a	■を押す。
カーソル上のカナ文字を促音に切り換える。 例：ツ ッ	■を押す。
文字入力をやめる。	カーソルが入力エリアのとき、■を押す。

\* ボタンの機能はカーソルが入力エリアにあるときと、文字パレットにあるときで異なることがあります。

**7** 手順6を繰り返して名前をつける。

**8** ジョグダイヤルを2秒以上押す。  
名前が入力されます。

## ご注意

録音中に曲名、ディスク名を入力している途中で録音が終了した場合や、録音中に曲名入力をしている途中で次の曲が始まった場合は、それまでの入力が記録されます。

## 名前を変更する

「名前をつける」(40、このページ)の手順で名前を変更してください。

ディスク名を変更するときは、録音中、再生中、停止中、いずれの状態でも変更できます。

名前を変更するときは、曲の再生中、または停止中で曲を選んでいる状態で変更してください。

## 途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

## 1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

## ご注意

- カナ入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、先頭と最後に「^」がつきます。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を、本機で書き換えることはできません。

リモコンの操作については64、65ページをご覧ください。

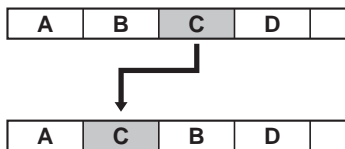
## 曲順を変える(ムーブ)

曲を移動して、曲順を変更できます。

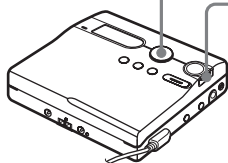
### ご注意

グループ設定されたディスク内の曲順を変えるときは51ページをご覧ください。

例:3曲目(C曲)を2曲目に移動するとき



集中コントロール  
キー(◀▶)



ジョグ  
ダイヤル

- 1 移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押す。
- 2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。  
1曲リピート再生になります。
- 3 ジョグダイヤルを回して「Move」を表示させ、押して決定する。

- 4 ジョグダイヤルを回して「♪: Move」を表示させ、押して決定する。  
表示窓の中段に曲番が点滅します。  
曲名が入力されているときは、▶▶を押すと、曲名を表示させることができます。◀◀を押すと曲番に戻ります。



- 5 ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を表示させる。  
例ではC曲を2曲目に移動したいので、ジョグダイヤルを上方向に回して、表示窓の中段に「002」が点滅するようにします。



- 6 ジョグダイヤルを押して決定する。  
指定した位置に移動したい曲が移ります。

### 途中で止めるときは

■を2秒以上押す。

### 1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

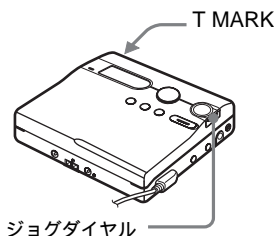
リモコンの操作については65ページをご覧ください。

## 曲を分ける(ディバイド)

曲の途中にトラックマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲を分ける前に分ける位置を微調整することもできます。曲を分けると曲番は下ようになります。本体でのみ操作できます。

### ご注意

パソコンからチェックアウトした曲はトラックマークをつけることができません。



## 直接曲を分ける(ディバイド)

- 再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKを押す。「MARK ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

## 分ける位置を調整してから曲を分ける(ディバイドリハーサル)

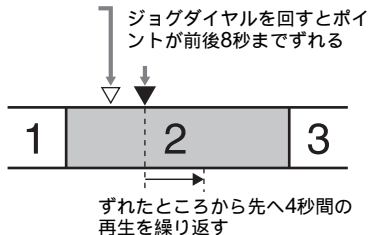
- 再生中にT MARKを2秒以上押す。T MARKが押されたところから、先へ4秒間の再生を繰り返します。

T MARKが押されたところ



- ジョグダイヤルを回して曲を分けるポイントを調整する。ジョグダイヤルを回すとポイントが前後にずれていきます。手順1でT MARKを押した位置から、最大8秒前後に動かすことができます。

手順1で最初にT MARKが押されたところ



- ジョグダイヤルを押して決定する。

## 録音中に曲を分けるには

録音(シンクロ録音を除く)中に、マークをつけたい位置でT MARK(リモコンではP MODE/◀)を押してください。また、オートタイムマークを使って、一定時間おきに自動的に曲を分けることもできます(デジタル録音中を除く)(30ページ)。

## 曲を1つにする(コンバイン)

アナログ入力(LINE IN)やマイク入力  
で録音したときは、静かな音が続く部分  
などに不要なトラックマークがついて、  
曲が分割されてしまうことがあります。  
その場合は、トラックマークを消すと、  
前後の曲を1つの曲にまとめることが  
できます。曲番は次のようになります。  
本体でのみ操作できます。

### ご注意

- パソコンからチェックアウトした曲はトラックマークを消すことができません。
- グループ設定されたディスク内の曲やグループを1つにするときは49ページをご覧ください。
- 異なるモードで録音された曲は、つなげません。



1 曲番を消したい曲を再生し、||を押して再生一時停止にする。

2 ⏮を押して曲の先頭(00:00)にする。

例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。

「MARK」が表示されます。

3 T MARKを押す。

「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。



録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

### ご注意

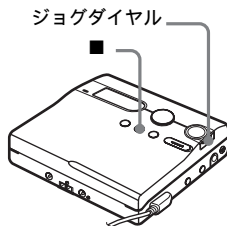
別のグループに属する連続した2つの間をつなぐと、前の曲が属するグループに登録されます。また、連続した、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の設定と同じになります。

## 曲を消す(イレース)

不要になった曲やディスクの曲を丸ごと削除することができます。


### ご注意

- パソコンからチェックアウトした曲は消せません。ディスクごと消す場合も、チェックアウトした曲が、1曲でも含まれていると消すことができません。パソコンにチェックインしてください。
- グループを消すときは、53ページをご覧ください。



## 1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。



- 1 消したい曲の再生中にジョグダイヤルを押す。
- 2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。
- 3 ジョグダイヤルを回して「Erase」を表示させ、押して決定する。
- 4 ジョグダイヤルを回して「 : Erase」を表示させ、押して決定する。  
表示窓に曲名(または曲番)と「Erase OK?」, 「PushENTER」が表示されます。
- 5 ジョグダイヤルを押して決定する。  
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

### 曲の一部を消すには


無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりにトラックマークをつけて(43ページ)その部分を消してください。

## 全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから行ってください。

- 1 消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。
- 2 を押す。
- 3 ジョグダイヤルを押す。
- 4 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。
- 5 ジョグダイヤルを回して「Erase」を表示させ、押して決定する。
- 6 ジョグダイヤルを回して、「 : Erase」を表示させ、押して決定する。  
表示窓にディスク名と「AllErase?」, 「PushENTER」が表示されます。
- 7 ジョグダイヤルを押して決定する。  
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00 : 00」と表示されます。

### 途中で止めるときは

を2秒以上押す。

### 1つ前の設定に戻すときは

を押す。

リモコンの操作については66ページをご覧ください。

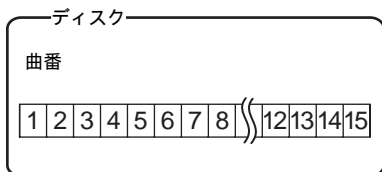
## グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。MDLP(LP2/LP4)モードで、1枚のディスクにCD何枚分かを録音したときや、シングルCDを集めて録音したディスクの再生をするときなどに便利な機能です。

### グループ設定されたディスクとは？

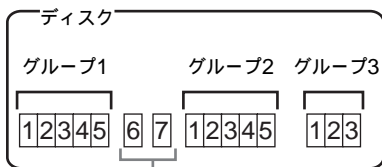
1枚のディスク内で、録音された複数の曲が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

グループ設定前



1~5曲めを「グループ1」に  
8~12曲めを「グループ2」に  
13~15曲めを「グループ3」に  
6、7曲めはグループに入れない

グループ設定後



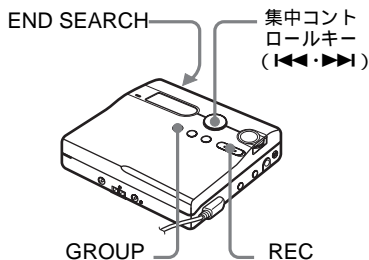
グループに入っていない曲は「Group - -」に属しているとみなされる。

1枚のディスクには最大99個のグループを作ることができます。

### ご注意

1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

## グループで録音する



### 新しくグループを作って録音する

ディスクの最後に新しいグループを追加して録音します。

- 1 停止中にEND SEARCHを押す。
- 2 GROUPを押したまま、RECつまみを押しながらずらす。
- 3 録音もとの機器の再生を始める。  
ディスクの最後に新しいグループが追加されます。

### 録音を止めるには

■を押す。  
録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

## 既存のグループに追加録音する

今あるグループの中に曲を追加します。

- 1 GROUPを押し、◀◀または▶▶を押して、録音を追加したいグループを表示させる。
- 2 GROUPを押したまま、RECつまみを押しながらずらす。
- 3 録音もとの機器の再生を始める。



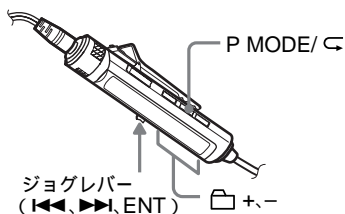
- 現在聞いているグループに曲を追加して録音するときは、再生を一時停止または停止させて手順2から行ってください。
- GROUPボタンを押さなくても、常にグループ録音になるように設定することができます。詳しくは59ページをご覧ください。

## グループで再生する

グループ設定されたディスクではグループ機能を使っているいるな再生を行うことができます。

グループの再生中、ディスク中でグループに設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group --」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

ここではリモコンでの操作を説明しています。本体の操作については60ページをご覧ください。



グループ機能を使う

## グループ再生する

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループ化されていない曲（「Group --」）を再生して終わります。

- 1 再生中、P MODE/⏏を繰り返し押して、「⏏」を表示させる。

## グループの頭出し(グループスキップ)をするには




- 1 再生中、⏏+または-を押す。  
⏏-ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。

## グループ単位で再生モードを選ぶ

グループ設定されたディスクでは、グループ単位でのシャッフル再生やプログラム再生ができます。

### 1 P MODE/↵を繰り返し押す。




通常の再生モードに続いて、次のグループ再生モードが表示されます。

表示	再生状態
	グループ通常再生(先頭グループから順にグループごとに1回再生)
 SHUF	イングループシャッフル(再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生)
 PGM	グループプログラム(グループ単位で再生の順番を変える)

## 選んだグループ再生モードを繰り返し聞く(グループリピート再生)

### 1 お好みのグループ再生モードで再生中、P MODE/↵を2秒以上押す。

それぞれのグループ再生モードで繰り返し再生します。

表示	再生状態
 ↵	再生中のグループの曲をリピート再生
 SHUF ↵	再生中のグループの曲をシャッフルリピート再生
 PGM ↵	プログラムされたグループ単位の曲をリピート再生

## 好きな順にグループを並べかえて聞く(グループプログラム再生)

「好きな順に曲を並べ変えて聞く(プログラム再生)」(34ページ)と同様の手順で、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。



以上内容仅为本文档的试下载部分，为可阅读页数的一半内容。如要下载或阅读全文，请访问：<https://d.book118.com/498055105003007004>